

# 地震ハザードマップについて

七戸町では、今後発生する可能性のある地震について、町民の皆様の日頃からの備えに役立てていただくために、地震に関するハザードマップを作成しました。このハザードマップは、青森県が実施した「青森県地震・津波被害想定調査」の結果を基に作成しています。

ご自宅の周辺、通勤・通学路等について、想定される揺れの大きさを確認し、災害準備や避難する際の情報として役立てましょう。

なお、危険度の色分けは、あくまでも予測結果であることをご理解のうえ、ご活用ください。

## 揺れやすさマップについて

「揺れやすさマップ」に表示されている想定震度は、青森県内全域にわたって被害が想定される3地震についての震度予測結果を重ね合わせ、最大となる震度（太平洋側海溝型地震時の最大マグニチュード9の場合）を採用した結果を表示したものです。震度予測は250mメッシュごとに行い、震度別に色分けをして表示しています。

なお、震源の位置や地震の規模が異なれば、地域の地表の揺れはマップに示した震度よりも強くなったり弱くなったりすることがあります。

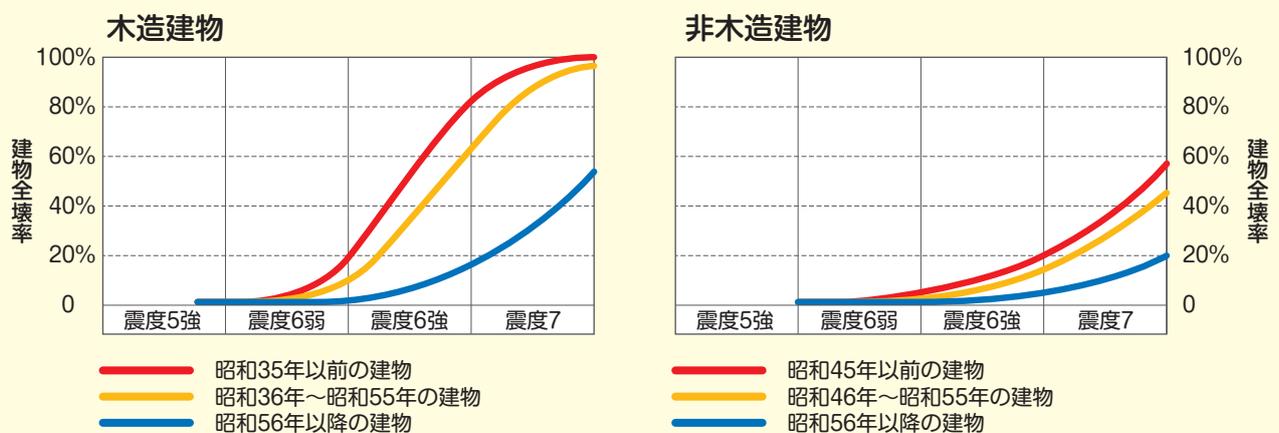
## 液状化マップについて

「液状化マップ」は、「揺れやすさマップ」で示された震度となった場合に液状化が起こる可能性を示したものです。液状化の可能性は、ある地点の液状化の可能性を総合的に判断したP L値により判定しています。

震源の位置や地震の規模が異なれば、液状化が発生しない場合もあります。液状化が生じやすい場所では地盤の締固めや、軟弱な地盤を改良するといった対策をとることで液状化しにくく、または被害を小さくすることが可能です。

なお、液状化現象は、地震動の大きさや揺れの長さ、地盤の特性や地下水の状況などによって異なります。このため、液状化対象外となっている地域についても、池・湖・川等の近くや池・川・水田等を埋め立てた場所などは液状化に対して注意をしなければならないことに留意してください。

## 過去の地震による震度と建物全壊率の関係



※上図は建物の構造・建築年別で示しており、震度に対し建築年代が古いものほど、建物全壊率は高く、特に「震度6弱」以上で急激に全壊率は高くなる傾向があります。